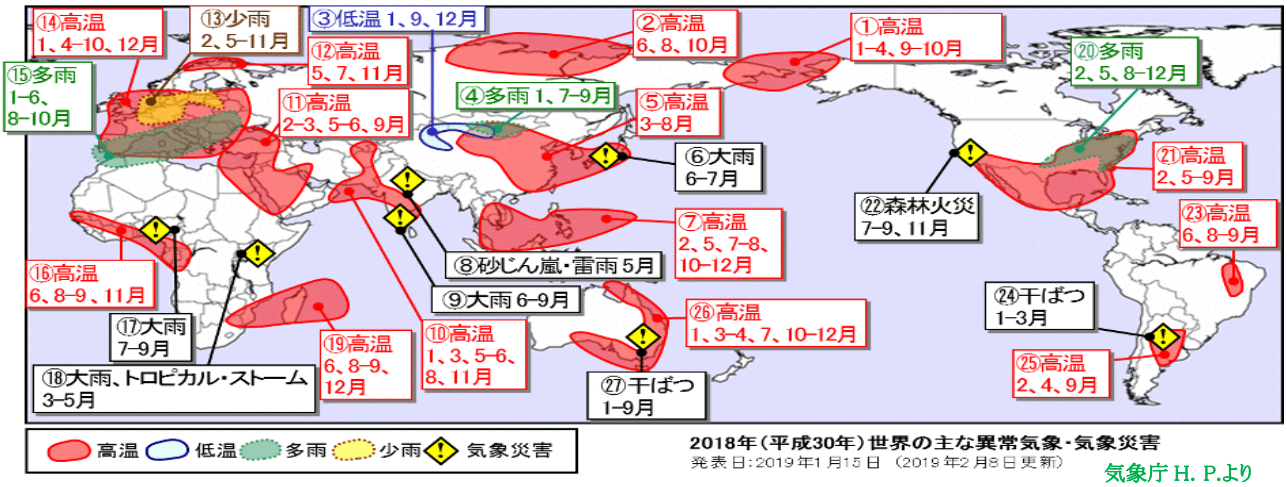
海上の森だより

特定非営利活動法人
海上の森の会 会報
第 52 号
2019 年 8 月発行

本会は、愛知県や地域と協働で、海上の森の自然や文化を守り育てるために活動することを目的として設立した NPO 法人です（定款より）。

近年、毎年のように世界各地で異常気象による災害が伝えられます。2003 年8月のヨーロッパでは猛暑により2万人の死者を出したと伝えられましたが、本年も 2003 年を超える猛暑となる予報が出されています。昨年は異常気象により世界中で多雨、少雨、高温、低温などにより多くの災害が報告されました。我が国においても昨年の集中豪雨や酷暑はこれまでにない異様なものがありました。豪雨は総降水量四国 1,800 ミリ、中部 1,200 ミリ、九州 900 ミリ、近畿 600 ミリ、中国地方 500 ミリ超えを記録し、名古屋の 30 年間の年平均降水量は約 1,540 ミリと記録されていることからすると短期間にありえないほどの降水があり、200 名を超える死者が出てしまいました。また、秋には大型台風 21 号(915hPa)が上陸し、最大瞬間風速は関西国際空港で 58.1 メートルなど 99 の観測点で観測史上最大値を観測し、紀伊水道の沿岸では記録的な高潮となり観測史上最高潮位を観測するなど大きな災害をもたらしました。



2018年（平成30年）世界の主な異常気象・気象災害
発表日：2019年1月15日（2019年2月8日更新）
気象庁 H. P.より

森には多くの機能があるといわれ、生物多様性保全、地球環境保全、土砂災害防止機能、水源涵養機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、物質生産機能などを持っているといわれています。私たち海上の森の会の活動は、植物などの保全活動（保全）、人工林の間伐（災害防止）、健全な森の育成（水源涵養、CO2 吸収、気候緩和、大気浄化）、散策者の案内（保健）、自然観察（教育）、里の教室・景観保全（伝統文化の紹介）、コメやキノコなどの栽培（生産）などの活動を行うことによって、森のすべての機能向上に貢献していると考えられます。

本年はユネスコの未来遺産関連活動として住友ゴム工業 K.K.（ダンロップ）とあいち海上の森センターと協働で人工林の間伐と景観保全のための稲架棒（ハザボウ）づくりを行いました。会の力だけでは微々たるものですが、多くの市民や団体の協力を得ながら森の保全・里の保全にかかわっている海上の森の会の活動は、広くとらえれば地球環境の改善に寄与し、世界の異常気象の改善に貢献しているといえます。誇りを持って活動しようではありませんか。　　（理事長　石川 明博）

『海上の森だより』52 号目次

海上の森の会の役割……1
第 10 回総会記事……2
会の動き　2019 年5月～8月……3･4
海上の森の自然ノート　……5
グループ活動報告　2019 年5月～8月……6･7
活動予定　2019 年9月～12月……8

＊9 月 14 日（土）四季のイベント　里のお月見
里山サテライト（かたりべの家）
＊11 月 24 日（日）収穫感謝祭
里山サテライト（かたりべの家）

会の動き

☆海上の森の会第 10 回通常総会が開催されました

令和元年５月 11 日、海上の森の会の第 10 回通常総会が開催されました。会は平成 16 年設立され、その後、会の組織体制を充実させ平成21年ＮＰＯ法人の資格を取得し、平成 22 年４月に第１回通常総会開催後の一つの節目となる第 10 回の総会となりました。来賓としてはあいち海上の森センター名誉センター長マリ　クリスティーヌ氏と４月より新所長として赴任された栗田悟氏を迎えました。偶然にも総会当日の５月 11 日はマリ　クリスティーヌ氏の誕生日であったことが判明し、そうであるならと布目氏（森づくりグループ木工芸教室指導役）よりささやかながらとしてスプーン、フォークなどの木工作品が提供され、布目氏は当日所用で欠席のため代わって私、石川より贈呈し、大変喜んで受け取っていただきました。

総会は浦井理事の開会宣言の後に、理事長より近年収入減により厳しい運営が続いているが会員一丸となって乗り切っていきたいとの挨拶がありました。議長には後藤理事が選出され、議事録署名人には阿部理事と中川氏が承認されて議案の審議に入りました。第１号議案の前年度事業報告は各グループの活動、未来遺産関連としてダンロップとの協働、豊田自動織機 K.K. との協働、あいちサトラボ里山開拓団との交流などの報告があり、第２号議案前年度決算報告では法人税分の約 18 万の赤字となることが原理事より説明があり、山川監事からの監査報告の後に議場において承認されました。

続いて第３号議案の今年度事業計画案として各グループの活動方針（総会資料）や未来遺産関連事業の間伐兼稲架棒作りなどの計画が示され、また、第４号議案の今年度予算案が示され、今年度も更に活動助成金の減額があり厳しい予算であるが、前年度決算並みの予算としたいとの説明があり承認されました。最後に第５号議案の役員案などが示され会の運営に長年尽力された曽我部理事、山川監事の退任が報告され、次期監事として浦井副理事長が就任し、新理事として里づくりＧなどで活躍されている堀圭子氏が就任する案が示され承認され総会を終えました。その後、理事会が開催されて石川理事が互選され今年度も理事長を重任することになりました。その他別表の各リーダーが紹介されました。（理事長　石川　明博）

☆令和元年度新体制

グループ	グループリーダー	担当リーダー	活　　動
自然調査	石川明博	石川　明博	生物季節調査 自然ｳｫｯﾁﾝｸﾞ
		曽我部紀夫	海上の森ツアー　調査学習
里づくり	後藤丈太郎	阿部与佐雄	耕地管理
		原田　幹雄	里と森の教室
森づくり	阿部与佐雄	阿部与佐雄	森林（もり）づくり
		布目　勝	木工芸教室
		大澤　秀文	企業連携
里山文化	出口なほ子	山川　一年	生活史調査
		出口なほ子	里のくらし
		青木　周子	サテライト管理
情報広報	石　川明博	伊藤　良吉	会報発行
		石川　明博	広報　FB　HP

特別グループ

未来遺産関連事業	後藤丈太郎	石川 明博	イベント

☆新旧理事の言葉

新任にあたって思うこと　　堀 圭子新理事

海上に来るのが楽しくて、通い続けた十余年です。このたび、理事をお受けすることになり、恐縮しております。

私の活動は「里と森の教室」を中心に回っています。５月の教室開始から田畑の世話が本格化し、12 月まで毎月の開催日を目指して皆さんとフル活動です。

里山の維持管理は本当に重労働です。特に夏の炎天下での水田、水路の管理、畑の管理、草刈りなどの作業の過酷さは体にこたえます。体に負担の少ない、働きやすい環境作りは、次の担い手を集めるためにも大切なことだと感じています。

また、会の行事に参加して、せっかくの会の決定事項が活動に参加する会員に伝達されていないと、感じることがよくありました。目に見える会への勧誘もあまりありません。こういった課題についても理事会等でよく話し合っていきたいと思います。

今までやってきたことを急に変えることはできませんが、少しずつ変えていくことで、ふり返れば、以前より良くなったと思っていただけるように努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。

海上の森の会理事を振り返って　　曽我部 紀夫前理事

2014 年～2018 年までの５年間理事をしました。理事になる前年に海上の森センターとの信頼関係が危うくなる出来事がありました。その後、浦井理事長はじめ事務局が規則などの整備をされ、運用を続けて今のように信頼関係が再構築されました。この事が５年間でいちばん記憶に残っている事です。

理事を務めていた５年間にはありませんでしたが、森

の会設立当初は役員とセンターとの意見交換会が有ったと聞いています。森の会の活動をリフレッシュするためにもセンターとの意見交換会が復活すれば良いのではないでしょうか。海上の森の会メンバーの年齢も上がっていますが、今後も新しい役員様達の力で森の会の継続、進歩を続けていって下さい。

私も微力ながら今後一会員として協力させていただきます。

☆海上の森の会トピック

日本ユネスコ協会連盟とダンロップの社会貢献活動

日本ユネスコ協会連盟では、日本の豊かな文化や自然を、〝100 年後の子どもたち〟に継承していくために、2009 年から未来遺産運動を実施しています。地方が抱える課題として、少子・高齢化、過疎化や生活スタイルの変化等の影響により、連綿と引き継がれてきた地域固有の文化や自然の保護・保全、継承が、困難になっているという状況があります。

次世代へ文化財や自然環境等を伝えていくためには、担い手である〝市民による保護・保全、継承活動〟が重要であるとの考えから、そうした活動を「プロジェクト未来遺産」として登録し、企業や教育機関等との連携を通じて、全国的な機運の醸成を目指しています。

今年で 11 年目を迎え、これまでに地域固有の町並みやお祭り、自然環境等を対象とした市民による 70 の活動が「プロジェクト未来遺産」として登録されています。

NPO 法人海上の森の会は、生物多様性を有する里山の自然環境の保全と伝統行事の実施等の里山文化を、教育機関や企業と連携し、総合的な〝里山コミュニティ〟の形成を目指す活動を行っており、2016 年に「プロジェクト未来遺産」に登録されました。

「プロジェクト未来遺産」に登録された活動を、より広く普及するために、企業の社会貢献活動と連携し、2013 年から住友ゴム工業株式会社ダンロップ様と「チームエナセーブ未来プロジェクト」を行っています。毎年、北海道から九州までの全国 8 カ所～10 カ所にて、同社の社員が「プロジェクト未来遺産」の活動に参加し、環境保全活動を行っています。

海上の森では、6 月 22 日に実施し、2017 年に続いて 2 回目の活動となりました（昨年は台風により中止）。当日は、同社社員 40 名の参加により、間伐作業と、間伐後の木材の加工作業（秋の収穫の際に使用する稲架棒づくり）を行いました。

日本ユネスコ協会連盟では、積極的に企業の社会貢献活動と連携し、一人でも多くの人に、日本の文化や自然の豊かさ、大切さを体験してもらうことを目指し、これからも未来遺産運動を推進していきます。　（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟　企画部主任　青山 由仁子）

未来遺産活動での稲架棒つくり

☆おもな会議の記録（年度の記録は次号に掲載します）

令和元年度第２回理事会（令和元年５月 11 日）

新理事により新理事長に石川明博氏を互選した。

令和元年度７月推進会議（７月 27 日）

グループリーダーは里づくりが後藤丈太郎氏に、森づくりが杉浦元保氏（代理）になった。　（編集担当）

☆他団体との交流

瀬戸まるっとミュージアム・観光協会

５月 23 日午前９時より瀬戸蔵会議室において瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会の理事会及び総会が開催されました。当観光協会は一般会員 367、団体会員 82 の計 449 の会員で構成されており、当会は理事として選任されているので理事会等に出席してきました。平成 30 年度として観光プロモーション推進等４つの重点事業などの事業報告や収支決算、監査報告や次年度として「瀬戸市への観光商品による誘客の促進」など４つの重点事業を含む事業計画（案）、収支予算（案）などの議案が承認されました。その後、午前 10 時より同所多目的ホールにおいて総会が開催され、提案された議題はすべて承認され閉会となりました。引き続きじゃらんリサーチセンター長の沢登次彦氏の講演があり、主には観光旅行に関する内容でしたが、「未来に向けて今やるべきことは」などのキーワードが印象に残りました。（理事長　石川 明博）

あいち海上の森フォーラム 2019

海上の森の会は当フォーラムの団体会員として理事長を含め数名が 6 月 23 日（日）オフィスパーク名駅カンファレンスパークにて行われた総会に出席してきました。このフォーラムは、愛・地球博の理念を継承し、人と自然の共生の取組みを発信するとともに、持続可能な社会づ

くりを担う人材育成を図るなど、多角的な視点から、人と自然の共生の重要性を学び発信するための「シンポジウム」をメインイベントとして事業展開を行なっています。今年度は11月10日（日）13時からウインクあいちにて今話題になっているSDGｓシンポジウムが開かれます。申込不要で誰でも無料で参加できます。なお共生ネットワーク促進として海上の森の会も協力する予定です。

（編集担当　大谷 敏和）

☆あいち海上の森センター新職員紹介

あいち海上の森センターでは、今年度の人事異動で新しい職員が配属されました。栗田悟（センター所長）、西川公恵（主査）、小笠原祐介（主査）、石井翔馬（主事）、勝股勇太（非常勤）の５名です。自己紹介の代わりに、４問のアンケートを取りました（以下、氏名１字のみ）。

①趣味・特技は？　栗：将棋は下手の横好き、テニスは休眠中。西：ウォーキング、ヨガ（現在お休み中）。小：フットサル（サッカーコートはもう走れません）。石：サイクリングと自転車整備が好きです。勝：学生時代から硬式野球を続けています！

②今やってみたいことはありますか？ 栗：小さな探検、西：旅行かな、小：木登り、石：エゾイチ！（北海道を自転車で一周）、勝：メジャーリーグの試合観戦！

③強みや長所は？　栗：まじめそうで抜けているところ。西：じっくりやっていくタイプです。小：コツコツ学びます。石：なにがあってもへコたれないメンタルです。勝：体力には自信があります！

④海上の森について一言　栗：体験したことのない森で何となく親しみが持てます。西：たくさんの散策者がいて、初体験ができそうな森。小：何を発見できるか楽しみです。石：新米職員ですが利用者のために頑張ります！勝：散策者の皆さん元気で自然豊かな森！

右から
栗田氏、
小笠原氏、
勝股氏
西川氏、
石井氏、

海上の森の会の皆様にはいろいろご協力をお願いすることになると思いますので、よろしくご指導をお願いします。

（センター新規職員一同）

地域発！関連団体の紹介

NPO法人　東海自然学園　東海シニア自然大学

皆さん、こんにちは！　NPO法人東海自然学園です。今から16年前（2004年）に「自然活動リーダー養成講座」を柱としてシニア世代の皆様に、学びと生きがいと仲間づくりを提供する「東海シニア自然大学」を創立し、愛知県・名古屋市のご後援を受け現在に至っています。

この間、入学された方は940余名、会員数も500名を超え，現在、2020年度の基礎科第17期生（72名）の募集を開始しています。

この学校の大きな５つの特徴は、①体系的に学べるカリキュラム　②充実した一流講師　③座学とフィールド実習の一体学習　④学びと実践の仲間づくり　⑤身につく深い自然観を持てるというものです。

年間30回の講座は香嵐渓、豊田自然観察の森、藤前干潟、海上の森、地域の都市公園、みろくの森、東谷山、内海、野間海岸、そして西ウレ峠等、多彩で、講師には皆様もご存知の自然活動の専門家や大家、リーダーの方、大学教授が当たり、楽しく熱心に行われています。

期の初めには交流を深めるために１泊の合宿があり、期の終りには修学旅行も行われています。

参加されている皆様の年齢はシニア自然大学ですので65歳ぐらいが平均ですが、75歳以上の方も元気に参加され、人生の中で、一番楽しく真剣に学べた、色々身近なフィールドが発見でき、講座内容も植物、野鳥、昆虫、地質、キノコ、海、川の生き物等と広い分野にわたり、入学して新たな分野に興味がもて、今までにない学びの目標が出来たといわれる方がたくさん見え、本当に輝いたお顔を拝見しています。

仲間も自然を学ぶということで一致され、心から議論し合い、ともに調査や研究、観察をされ、この年になってこんなに多くの仲間が出来るとは思わなかったという感想をいただいています。

基礎科が終わると高等科へ進みます。そして多くの方が地域の自然保護の活動に参加して見えます。

お世話するスタッフは、全員卒業生で無償に近いボランティアで現在25名で行っています。

これからも地域の皆様と共に生物多様性を守り、自然保護の活動に、学びと実践で貢献してゆきたいと思います。皆様の御支援をお願いするとともにご入校をお待ちしています。

（NPO法人　東海自然学園代表理事　横井 進）

海上の森の自然ノート

コケ愛好家　　のだ ふみ

今回は、『中級編』 苔類(たいるい) について、お話ししましょう。

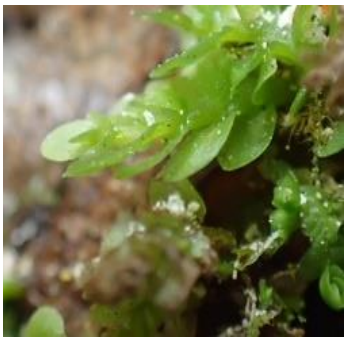
コケ植物自体が、小さいことは すでにご周知の通りですね。 コケ目になってくると さらに見分けの難しい苔類へ 興味が移ります。樹幹や土上など緑色のかたまりを見つけ「もしかしてコケ？」と思ったら、まずはルーペで覗いてみましょう。 日本では、620 種記録される苔類は小型のものが多く、さらにその造形美は、ルーペで観察する醍醐味を存分に楽しむことができます。苔類には、茎と葉がある茎葉体(けいようたい)と、全身が葉のように平たい葉状体(ようじょうたい)が あり姿がとても多様です。

苔類のサイズは 小さい

オオホウキゴケ

フルノコゴケ

チャボホラゴケモドキ



コマチゴケ

チャボヒシャクゴケ

ノコギリコオイゴケ

ムクムクゴケ

カビゴケ

ヤマトフタマタゴケ

ケゼニゴケ

オオジャゴケ

苔類の見分け方には、腹葉(ふくよう)や 腹鱗片(ふくりんぺん)を確認せよ！と言われます。腹面の観察がとても大切です。また、蘚類と違い 蒴柄(さくへい)は、とてもひ弱で短命です。半透明の蒴柄もまた美しく春先のコケ観察をより楽しいものにしてくれます。

『苔むす』という言葉は、国歌にもあるように 私達日本人には、聞きなれた言葉です。コケたちに一歩近づきじっくり見たとき、思わず「あっ！」と声をあげ美しさにみとれてしまいます。なぜコケに魅了されるのか…。次回は、自然環境に耐え、力強くも 健気なコケの生き方をご紹介したいと思います。

『苔むす会』https://kokemusukai.jimdofree.com/

グループ活動報告

自然調査グループ

海上の森ツアーは４月 20 日に豊田シデコブシの会７名を駐車場から四つ沢、三角点、古窯、サテライト、海上砂防池に案内しました。

定例の生物季節調査は順調に行われておりましたが、雨と猛暑で４回ほど中止しました。その中で湿地コースでは昨年の７月の酷暑の影響なのか今年はハルリンドウの開花が少なく、昨年は４月中旬がピークで 4000 輪を超えましたが、今年は半月遅れで５月初旬に 500 輪を超えた程度で例年は一面ブルーに見えた湿地も今年は少し寂しい思いをしました。

今年も４月から始まった海上の森自然ウォッチングはスタッフ７名前後で４月 18 名、５月 25 名、６月 26 名、７月 16 名、８月 13 名の一般市民の方をそれぞれの季節に応じたコースに案内し、海上の森の豊かな自然に親しんでいただきました。リピーターも多く、海上の森に愛着を持っていただいています。（グループリーダー　石川　明博）

里づくりグループ・里と森の教室

元号が平成から令和となり、令和最初の「里と森の教室」が、風薫る５月 19 日から始まりました。今年は 33 家族 96 名の応募があり、海上の森センター長に抽選をして頂き、22 家族 58 名の方が参加されます。開催数は、９回です。すでに４回開催していますのでその報告をします。

第１回５月 19 日。参加者数 44 名・19 家族、スタッフ 15 名。午前は、海上の森センター栗田所長・海上の森の会石川理事長の挨拶。海上の森の会事務局より、「里と森の教室」のしおり・注意事項等の説明。スタッフの紹介・写真撮影（参加者全員・各班ごと）。作業場所の案内下見。サトイモの植え付け、エンドウの収穫を行いました。午後はサツマイモの植え付けを行いました。

第２回５月 26 日。参加者数 51 名・20 家族、スタッフ 16 名。午前は、田植えを行いました。子供たちも、泥んこになりながら慣れない手つきで一生懸命に植えてくれました。午後は、タマネギ・エンドウの収穫を行いました。

田植え

第３回６月 23 日。参加者数 39 名・17 家族、スタッフ 13 名。午前は、田の草取りを行いました。午後はジャガイモ・ピーマン・ナス・ゴボウの収穫を行いました。

第４回７月 21 日。参加者数 40 名・18 家族、スタッフ 15 名。田の草取り・ナス・ピーマン・ゴボウ・キュウリの収穫を行いました。また里の畑で収穫したスイカでスイカ割りを行い子供たちに喜んでもらえたと同時に、参加者全員に楽しいひと時を過ごしてもらえたと思います。

楽しいひと時のスイカ割り

（グループリーダー　原田 幹雄）

森づくりグループ・森林（もり）づくり

海上の森「健全化 10 年プロジェクト」（あいち森と緑づくり事業にて実施）の通称“5.66ha ゾーン”の除伐・間伐を進め早や３年目に入り、明るい陽射しが多くなってきています。今期（５～８月）は 12 回、延べ 91 名で行いました。また、企業連携活動についても豊田自動織機、TB エンジニアリングおよび愛知工業大学による間伐研修（延べ指導員７名、参加者約 100 名）を行いました。

それ以外に今期は以下の４件の活動も行いました。

１）コアジサイ群生地の保全整備

通称“1.7ha ゾーン”の間伐後にコアジサイの群生が発生しましたので、保全整備作業を５年来行ってきました。その結果、６月にはコアジサイが甘い香りとともに見事に咲き誇りました。これはひとえに森づくりグループの女性陣の努力のたまものです。

グループ活動報告

１株のコアジサイは地味ですが、森一面に咲きそろうと圧巻です。百聞は一見に如かず。来年の６月には是非一見されたし。甘いにおいに酔いしれることでしょう。

コアジサイの甘い香りとともに

２）イノシシ対策

耕作地にイノシシ数匹の侵入が目撃されたり、耕作地が荒らされたりしたため、フェンスの点検・修繕を行いましたが、解決されませんでした。海上の森センターが調査したところ、弘法堂前の草むらに住み着いていることがカメラで確認されました。猟友会とも相談の結果、草を刈りイノシシを追い出すことになりました。その結果、イノシシは無事？退出した模様。

草刈り後イノシシは退出

３）イネ用はざ棒作り

未来遺産の支援企業であるダンロップの助けを借りて、四つ沢で切り出したヒノキの皮をむき、約 20 本のイネ用はざ棒を作りました。

４）多度神社入口の木橋修繕

地元の方の要請で、切り出したヒノキ６本の皮をむき、多度神社入口の木橋の修繕を行いました。

（グループリーダー代理　杉浦　元保）

森づくりグループ・木工芸教室

仲間も増え楽しさ満開！

手のひらに収まる木の器、初めての作品で完成時の嬉しさを今でも思い出します。おぼつかない手つきでノコギリやカンナを使っていると先輩達が見かねて教えて下さり、なんとか使える様になり興味沸騰！今では大きなトレー作りにも取り組んでいます。

ヒノキ、山桜、朴、リョウブなど。この森の間伐材を使用していると聞き、もっと木のことを知りたくなり、教室の女性達は森づくりの活動にも参加しています。　（生徒　　森山　美恵）

里山文化グループ　里のくらし

四季のイベント・ホタル鑑賞会

６月 15 日（土）毎年恒例のホタルの観賞会でしたが、季節外れの台風接近のため早々と中止となりました。午前中から朴葉寿司を里のくらしグループがたくさん作ってくださっていたので、サテライトには皆さんが詰めていてくださっていました。時間になりましたら雨も降らず、中止をご存じないご家族が４家族サテライトまで上がってこられたので、安全に留意してサテライトに残っている会員でホタルを見に出かけました。２，３匹見られたら上等かと思っていましたが、たくさん飛んでくれて大変楽しんでいただけました。時折雨がパラつきましたので早めに終了して帰路につきました。今年は気温の変動や思わぬ台風襲来にイベントは受難しております。そんな年もありますから自然には逆らえません。

（グループリーダー　出口　なほ子）

海上の森で涼しいところはどこ？

８月 18 日 12 時海上の森センター前の気温は 34℃ととても暑い日でした。しかし、物見の丘遊歩道の沢沿いの気温は 29℃、沢の水温は 24℃と涼しくなりました。丘の気温は 32℃でした。

そのまま物見山頂上へ直行。頂上では気温は 13 時 40 分一番暑い時間にもかかわらずセンターより３℃低い 31℃でした。北東の道を下ると北海上川の源流近くを通ります。気温 29℃水温 18℃でした。

サテライト近くの小川の水温は 24℃でした。井戸水でスイカを冷やした経験のない若者たちに森の中の気温水温を肌で感じる体験を、是非してほしいと思っています。

（編集担当　大谷　敏和）

海上の森の会 活動予定　　2019 年 9 月～12 月

月	活　動	活 動 日	時 間	集合場所	担 当
9	自然環境調査	5,12,19,26 各木曜	9:30～14:00	入口P,センターP	自然調査
	森林づくり（間伐作業）	7(土),10(火),21(土),24(火)	9:00～15:00	里の作業小屋	森づくり
	耕地管理（畑耕耘, 稲刈り, 稲架掛け）	4,11,18,25 各水曜 28(土)	9:00～	里山サテライト	里づくり
	※里と森の教室(稲刈り、はざ掛け)	29(日)	10:00～15:00	里山サテライ	里づくり
	★自然ウォッチング　申込不要	1(日)	9:30～14:30	入口駐車場	自然調査
	★木工芸教室（作品製作）	4(水),8(日),18(水)	10:00～15:00	工　作　室	森づくり
	★四季のイベント・里のお月見	14(土)	16:30～19:30	里山サテライ	里山文化
	全体活動日	28(土)	10:00～12:00	里の作業小屋	事務局
	推進会議	27(金)	9:00～10:30	協働推進室	理事長
10	自然環境調査	3,10,17,24,31 各木曜	9:30～14:00	入口P,センターP	自然調査
	森林づくり（間伐作業）	5(土),8(火),19(土),22(火)	9:00～15:00	里の作業小屋	森づくり
	耕地管理（草刈り, 籾殻集め, 稲の脱穀）	2,16,23 各水曜 12(土)	9:00～	里山サテライ	里づくり
	※里と森の教室(サツマイモ収穫, 間伐体験)	6(日)	10:00～15:00	里山サテライ	里づくり
	★自然ウォッチング　申込不要	6(日)	9:30～14:30	入口駐車場	自然調査
	★木工芸教室（作品製作）	2(水),13(日),16(水)	10:00～15:00	工　作　室	森づくり
	全体活動日	26(土)	10:00～12:00	里の作業小屋	事務局
	推進会議	26(土)	12:00～13:30	協働推進室	理事長
11	自然環境調査	7,14,21,28 各木曜	9:30～14:00	入口P,センターP	自然調査
	森林づくり　（間伐作業）	2(土),5(火),16(土),19(火)	9:00～15:00	里の作業小屋	森づくり
	耕地管理（畑田耕耘, 水路整備など）	6,13,20 各水曜 23(土)	9:00～	里山サテライト	里づくり
	○収穫感謝祭	24(日)	9:30～14:00	里山サテライ	事務局
	※里と森の教室(くん炭作り, さといも収穫)	10(日)	10:00～15:00	里山サテライ	里づくり
	★自然ウォッチング　申込不要	3(日)	9:30～14:30	入口駐車場	自然調査
	★木工芸教室（作品製作）	6(水),10(日),20(水)	10:00～15:00	工　作　室	森づくり
	全体活動日	30(土)	10:00～12:00	里の作業小屋	事務局
	推進会議	30(土)	12:00～13:30	協働推進室	理事長
12	自然環境調査	5,12,19,26 各木曜	9:30～14:00	入口P,センターP	自然調査
	森林づくり　（間伐作業）	7(土),10(火),21(土),24(火)	9:00～15:00	里の作業小屋	森づくり
	耕地管理（田耕耘、水路整備, 苗床作り）	4,11,18 各水曜	9:00～12:00	里山サテライ	里づくり
	※里と森の教室(落葉かき、正月準備など)	8(日)	10:00～15:00	里山サテライ	里づくり
	★自然ウォッチング　申込不要	1(日)	9:30～14:30	入口駐車場	自然調査
	★木工芸教室（作品製作）	4(水),15(日),18(水)	10:00～15:00	工　作　室	森づくり
	★四季のイベント・お正月準備	22(日)	9:00～14:00	里山サテライ	里山文化
	全体活動日	28(土)	10:00～12:00	里の作業小屋	事務局
	推進会議	28(土)	12:00～13:30	協働推進室	理事長

その他　9 月 26 日大阪シニア自然大学より海上の森ツアーの受け入れを予定
10 月 12 日（土）「交流フェスタ 2019in パルティせと」に「伝承遊び体験」とブース展示応援スタッフ募集中
11 月 9 日（土）里ラボ収穫祭　モリコロパークにてブース展示＆焼きも販売他、遊びにいらしてください。
○会員家族も参加可能　会費 500 円　持ち物　マイ食器、箸(各種)　飲み物　エプロン等
※海上の森センター主催　一般公募行事　　詳細はチラシ参照　申込先　海上の森の会
★会員外参加可能行事　　四季のイベントの持ち物　マイ食器、箸（各種）　飲み物　エプロン等

特定非営利活動法人 海上の森の会
理事長 石川　明博
事務所：〒489-0857
愛知県瀬戸市吉野町 304-1
あいち海上の森センター３Ｆ
Ｔｅｌ&Ｆａｘ 0561-21-9298
E-mail：morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp

年会費（４月～翌３月）１口 1,000 円
郵便振込 00820-6―185628
特定非営利活動法人　海上の森の会

海上の森の会　検索
Home Page　/ｆａｃｅｂｏｏｋ

事務局業務時間は、午前９時より午後１時までです。